

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年11月12日
【四半期会計期間】	第63期第3四半期（自平成22年7月1日至平成22年9月30日）
【会社名】	木徳神糧株式会社
【英訳名】	KITOKU SHINRYO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 平山 惇
【本店の所在の場所】	東京都中央区銀座七丁目2番22号 （同所は登記上の本店所在地で、実際の業務は下記で行っております。） 東京都江戸川区西瑞江二丁目14番6号
【電話番号】	03（5636）1501（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理部門財務部長 稲垣 英樹
【最寄りの連絡場所】	東京都江戸川区西瑞江二丁目14番6号
【電話番号】	03（5636）1501（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理部門財務部長 稲垣 英樹
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第62期 第3四半期連結 累計期間	第63期 第3四半期連結 累計期間	第62期 第3四半期連結 会計期間	第63期 第3四半期連結 会計期間	第62期
会計期間	自平成21年 1月1日 至平成21年 9月30日	自平成22年 1月1日 至平成22年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成21年 1月1日 至平成21年 12月31日
売上高(千円)	79,444,974	78,702,947	26,392,103	26,140,808	104,429,761
経常利益(千円)	682,720	643,845	160,606	204,689	941,712
四半期(当期)純利益(千円)	408,421	368,196	101,287	132,403	578,952
純資産額(千円)	-	-	5,049,260	5,497,239	5,252,290
総資産額(千円)	-	-	23,279,533	21,737,299	29,102,843
1株当たり純資産額(円)	-	-	545.08	597.85	567.19
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	48.16	43.42	11.94	15.61	68.27
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	19.9	23.3	16.5
営業活動によるキャッシュ・フ ロー(千円)	1,876,943	5,552,291	-	-	2,134,235
投資活動によるキャッシュ・フ ロー(千円)	234,891	257,740	-	-	237,640
財務活動によるキャッシュ・フ ロー(千円)	1,697,341	4,569,395	-	-	2,140,884
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	-	2,207,095	2,762,019	2,035,301
従業員数(人)	-	-	427	424	423

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載して
おりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載して
おりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成22年9月30日現在

従業員数（人）	424	(347)
---------	-----	-------

（注）従業員数は就業人員（当社グループからグループ外への出向者は除いており、グループ外から当社グループへの出向者は含んでおります。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、嘱託契約及び契約社員を含み、派遣社員を除いております。）は、（ ）内に当第3四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成22年9月30日現在

従業員数（人）	167	(112)
---------	-----	-------

（注）従業員数は就業人員（当社から社外への出向者は除いており、社外から当社への出向者は含んでおります。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、嘱託契約及び契約社員を含み、派遣社員を除いております。）は、（ ）内に当第3四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
米穀事業(千円)	11,064,537	90.2
食品事業(千円)	834,732	99.4
合計(千円)	11,899,269	90.8

- (注) 1. 金額は製造原価によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 商品仕入実績

当第3四半期連結会計期間の商品仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
米穀事業(千円)	9,133,307	91.2
鶏卵事業(千円)	1,372,677	99.7
食品事業(千円)	509,989	100.7
飼料事業(千円)	831,667	103.3
合計(千円)	11,847,641	93.3

- (注) 1. 金額は仕入価額によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

該当事項はありません。

(4) 販売実績

当第3四半期連結会計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
米穀事業(千円)	21,622,156	99.1
鶏卵事業(千円)	1,469,509	97.7
食品事業(千円)	2,011,837	96.8
飼料事業(千円)	1,037,304	103.7
合計(千円)	26,140,808	99.0

- (注) 1. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. セグメント間の取引については相殺消去しております。
3. 前第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
日本デリカフーズ協同組合	3,624,773	13.7	3,370,945	12.9
(株)イトーヨーカ堂	3,476,307	13.2	3,120,244	11.9

4. 米穀事業の内容は次のとおりであります。

区 分		前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)			
		精米	玄米	その他	計
数量	構成比(%)	70.9	29.1	-	100.0
	トン	63,627	26,056	-	89,684
売上高	構成比(%)	71.8	28.1	0.1	100.0
	千円	15,653,908	6,133,381	22,547	21,809,837

区 分		当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)			
		精米	玄米	その他	計
数量	構成比(%)	69.9	30.1	-	100.0
	トン	69,301	29,776	-	99,077
売上高	構成比(%)	68.3	31.5	0.2	100.0
	千円	14,768,127	6,806,480	47,548	21,622,156

2【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、新興国向け輸出を中心に一部回復の動きが見られるものの、急激な円高や政策効果の息切れ等により、景気の先行きが不透明な状況となっております。

食品業界におきましても、デフレ圧力が依然強いなか、雇用・所得への不安を背景に個人消費の低迷や消費者の節約志向が改善されず、低価格競争が消費喚起のために多用される等、企業間の競争が厳しさを増しております。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、既存取引の基盤強化、新規取引開拓の促進を図りながら、在庫管理の強化、仕入コストの低減、製造及び販売コストダウンに努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間の業績は売上高26,140百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益228百万円（同3.4%増）、経常利益204百万円（同27.4%増）、四半期純利益132百万円（同30.7%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

米穀事業

米穀事業につきましては、小麦価格の大幅な値下げにより麺類の消費が増加するなか、コメの消費は引き続き減少傾向にあります。また、平成21年産米の民間在庫は大幅過剰となり、加えて平成22年産米の作況指数は「98」のやや不良となりましたが、過剰作付面積の減少が一部に留まり、大幅な供給過剰が予想されているため、コメ販売価格の先安感が強まり、卸会社間の競争が一層激化されております。

このような状況のなか、当社グループは、卸業者間における玄米販売を強化しましたが、精米販売価格の下落により、売上高は21,622百万円（前年同期比0.9%減）となりました。しかしながら、在庫管理の強化、仕入コストの低減、製造及び販売コストダウンに努めました結果、営業利益は379百万円（同20.4%増）となりました。

鶏卵事業

鶏卵事業につきましては、家庭用向けも業務用向けも販売不振のため、売上高は1,469百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は19百万円（同47.5%減）となりました。

食品事業

食品事業につきましては、低たんぱく米や米粉の販売が引き続き順調に拡大しておりますが、競争の激化や製造コストの上昇等、経営環境が依然厳しいなか、鶏肉や惣菜の加工販売において事業のリストラチャリングを積極的に推進したにも係らず、大幅な改善に至っておりません。この結果、売上高は2,011百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は前年同期14百万円に対し、12百万円の営業損失となりました。

飼料事業

飼料事業につきましては、販売数量の増加を順調に達成した結果、売上高は1,037百万円（前年同期比3.7%増）となりましたが、国産飼料価格の下落等により営業利益は57百万円（同9.0%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は21,737百万円となり、前連結会計年度末と比べ7,365百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の増加額725百万円に対し、受取手形及び売掛金の減少額1,766百万円、たな卸資産の減少額3,882百万円、前渡金の減少額2,128百万円、有形固定資産の減少額183百万円、投資有価証券の減少額59百万円等があったためであります。

負債につきましては負債合計が16,240百万円となり、前連結会計年度末と比べ7,610百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の増加額613百万円に対し、支払手形及び買掛金の減少額1,824百万円、短期借入金の減少額5,092百万円、未払法人税等の減少額294百万円、流動負債その他の減少額1,089百万円等があったためであります。

純資産につきましては純資産合計が5,497百万円となり、前連結会計年度末と比べ244百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加額323百万円等があったためであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、当第2四半期連結会計期間末に比べ635百万円の増加となり、2,762百万円（前年同期比25.1%増）となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結会計期間の営業活動の結果獲得した資金は、2,576百万円（前年同期比103.5%増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益222百万円、売上債権の減少284百万円、たな卸資産の減少668百万円、仕入債務の増加668百万円、営業活動その他693百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結会計期間の投資活動の結果使用した資金は、31百万円（前年同期比425.8%増）となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入88百万円に対し、有形固定資産の取得による支出101百万円、無形固定資産の取得による支出16百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結会計期間の財務活動の結果使用した資金は、1,909百万円（前年同期比3.6%増）となりました。これは主に長期借入れによる収入1,600百万円、社債の発行による収入397百万円に対し、短期借入金の減少3,093百万円、長期借入金の返済による支出239百万円、社債の償還による支出558百万円があったこと等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末において計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成22年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成22年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,530,000	8,530,000	(株)大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	8,530,000	8,530,000	-	-

(注) 第3四半期会計期間末現在のの上場金融商品取引所は、大阪証券取引所JASDAQであります。

なお、大阪証券取引所JASDAQは、平成22年10月12日付で同取引所へラクス及びNEOとともに、新たに開設された同取引所JASDAQに統合されており、同日以降の上場金融商品取引所は大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)であります。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成22年7月1日 ~ 平成22年9月30日	-	8,530	-	529,500	-	331,500

(6)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成22年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成22年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 50,000	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 8,410,000	8,410	-
単元未満株式	普通株式 70,000	-	1単元（1,000株） 未満の株式
発行済株式総数	8,530,000	-	-
総株主の議決権	-	8,410	-

【自己株式等】

平成22年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
木徳神糧株	東京都江戸川区西 瑞江2-14-6	50,000	-	50,000	0.59
計	-	50,000	-	50,000	0.59

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高（円）	397	385	395	445	418	420	405	410	400
最低（円）	385	353	372	388	389	389	395	395	389

（注） 最高・最低株価は、平成22年4月1日より大阪証券取引所（JASDAQ市場）におけるものであり、それ以前はジャスダック証券取引所におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成21年1月1日から平成21年9月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成22年1月1日から平成22年9月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成21年1月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成22年1月1日から平成22年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、S K東京監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,798,154	2,072,879
受取手形及び売掛金	7,608,248	9,375,149
商品及び製品	1,164,799	4,060,477
仕掛品	387,972	491,564
原材料及び貯蔵品	1,063,462	1,946,749
前渡金	1,375	2,130,146
繰延税金資産	170,657	157,446
未収入金	124,599	104,413
その他	130,534	245,770
貸倒引当金	5,364	7,545
流動資産合計	13,444,439	20,577,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,577,392	2,692,226
機械装置及び運搬具(純額)	1,091,065	1,132,127
土地	2,957,521	2,957,521
リース資産(純額)	21,649	25,081
その他(純額)	49,304	73,020
有形固定資産合計	6,696,933	6,879,978
無形固定資産		
ソフトウェア	44,563	30,243
その他	44,808	44,304
無形固定資産合計	89,372	74,547
投資その他の資産		
投資有価証券	850,263	909,522
長期貸付金	9,302	7,606
長期前払費用	21,241	17,724
繰延税金資産	5,325	4,644
その他	708,445	734,643
貸倒引当金	88,023	102,877
投資その他の資産合計	1,506,554	1,571,263
固定資産合計	8,292,860	8,525,789
資産合計	21,737,299	29,102,843

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,744,812	4,568,840
短期借入金	6,330,612	11,422,657
1年内償還予定の社債	519,100	874,200
1年内返済予定の長期借入金	1,480,480	1,138,872
リース債務	4,576	4,576
未払法人税等	81,108	375,235
繰延税金負債	-	632
賞与引当金	282,857	142,809
役員賞与引当金	-	1,400
その他	1,501,083	2,590,824
流動負債合計	12,944,630	21,120,049
固定負債		
社債	694,000	733,600
長期借入金	2,017,653	1,404,073
リース債務	17,072	20,505
繰延税金負債	447,169	464,435
退職給付引当金	34,972	30,625
負ののれん	-	2,174
その他	84,562	75,090
固定負債合計	3,295,429	2,730,503
負債合計	16,240,060	23,850,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	529,500	529,500
資本剰余金	331,500	331,500
利益剰余金	4,353,781	4,029,927
自己株式	18,806	18,862
株主資本合計	5,195,975	4,872,064
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	51,383	39,340
繰延ヘッジ損益	4,039	29,610
為替換算調整勘定	70,719	52,573
評価・換算差額等合計	126,143	62,304
少数株主持分	427,406	442,530
純資産合計	5,497,239	5,252,290
負債純資産合計	21,737,299	29,102,843

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	79,444,974	78,702,947
売上原価	74,398,602	73,684,378
売上総利益	5,046,372	5,018,568
販売費及び一般管理費	4,290,493	4,290,639
営業利益	755,878	727,929
営業外収益		
受取利息	4,866	897
受取配当金	12,681	14,236
不動産賃貸料	46,471	40,288
負ののれん償却額	14,829	3,708
為替差益	-	5,354
その他	60,224	52,238
営業外収益合計	139,072	116,724
営業外費用		
支払利息	181,512	162,721
不動産賃貸費用	14,067	12,529
デリバティブ評価損	188	12,547
為替差損	576	-
その他	15,885	13,010
営業外費用合計	212,229	200,808
経常利益	682,720	643,845
特別利益		
固定資産売却益	-	136
投資有価証券売却益	-	33,246
貸倒引当金戻入額	7,208	4,678
関係会社事業損失引当金戻入額	11,595	-
その他	1,011	825
特別利益合計	19,815	38,887
特別損失		
固定資産売却損	1,932	2,522
固定資産除却損	4,646	2,513
投資有価証券評価損	9,898	16,489
貸倒損失	10,291	-
貸倒引当金繰入額	14,430	-
事務所移転費用	-	14,660
その他	6,487	1,577
特別損失合計	47,686	37,762
税金等調整前四半期純利益	654,849	644,969
法人税、住民税及び事業税	316,946	275,555
法人税等調整額	71,606	264
法人税等合計	245,340	275,290
少数株主利益	1,088	1,482
四半期純利益	408,421	368,196

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	26,392,103	26,140,808
売上原価	24,764,928	24,516,142
売上総利益	1,627,174	1,624,665
販売費及び一般管理費	1,406,049	1,396,025
営業利益	221,125	228,639
営業外収益		
受取利息	1,250	313
受取配当金	3,083	3,401
不動産賃貸料	15,623	13,569
負ののれん償却額	3,955	1,236
デリバティブ評価益	12,225	-
為替差益	28,622	5,316
その他	13,855	18,260
営業外収益合計	3,080	42,098
営業外費用		
支払利息	50,376	47,016
不動産賃貸費用	5,111	4,129
デリバティブ評価損	188	8,301
為替差損	576	-
その他	1,185	6,599
営業外費用合計	57,438	66,047
経常利益	160,606	204,689
特別利益		
固定資産売却益	-	2
投資有価証券売却益	-	33,246
貸倒引当金戻入額	6,730	712
その他	438	13
特別利益合計	7,168	33,942
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	416	1,691
投資有価証券評価損	8,510	-
貸倒引当金繰入額	534	-
事務所移転費用	-	14,660
その他	1,181	3
特別損失合計	9,573	16,354
税金等調整前四半期純利益	158,201	222,277
法人税、住民税及び事業税	98,959	145,665
法人税等調整額	41,442	54,240
法人税等合計	57,516	91,425
少数株主損失()	601	1,551
四半期純利益	101,287	132,403

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	654,849	644,969
減価償却費	402,625	395,679
負ののれん償却額	14,829	3,708
貸倒引当金の増減額(は減少)	7,143	17,034
賞与引当金の増減額(は減少)	147,025	140,048
事業損失引当金の増減額(は減少)	11,595	-
役員賞与引当金の増減額(は減少)	3,000	1,400
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,442	4,347
受取利息及び受取配当金	17,547	15,134
支払利息	181,512	162,721
社債発行費償却	-	2,032
固定資産売却損益(は益)	1,932	2,385
固定資産除却損	4,646	2,513
デリバティブ評価損益(は益)	188	12,547
投資有価証券売却損益(は益)	-	33,246
投資有価証券評価損益(は益)	9,898	16,489
貸倒損失	10,291	-
事務所移転費用	-	14,660
売上債権の増減額(は増加)	2,362,220	1,758,986
たな卸資産の増減額(は増加)	1,075,022	3,847,716
仕入債務の増減額(は減少)	2,376,126	1,823,564
その他	284,269	1,075,254
小計	2,153,429	6,186,264
利息及び配当金の受取額	16,240	13,515
利息の支払額	174,940	115,081
法人税等の支払額	152,920	561,268
その他の収入	46,471	40,288
その他の支出	11,336	11,425
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,876,943	5,552,291

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（は増加）	16,578	50
有形固定資産の取得による支出	150,489	312,512
有形固定資産の売却による収入	2,068	2,739
無形固定資産の取得による支出	18,755	23,749
無形固定資産の売却による収入	-	136
投資有価証券の取得による支出	46,403	32,511
投資有価証券の売却による収入	82,000	88,035
出資金の回収による収入	2,000	-
貸付けによる支出	95,558	2,500
貸付金の回収による収入	37,414	625
その他	63,746	22,045
投資活動によるキャッシュ・フロー	234,891	257,740
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	334,994	5,073,303
長期借入れによる収入	500,000	1,850,000
長期借入金の返済による支出	1,025,410	894,812
社債の発行による収入	-	397,967
社債の償還による支出	782,700	794,700
リース債務の返済による支出	1,234	2,760
自己株式の処分による収入	94	159
自己株式の取得による支出	306	102
配当金の支払額	42,402	42,399
少数株主への配当金の支払額	10,387	9,444
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,697,341	4,569,395
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,147	1,561
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	58,435	726,718
現金及び現金同等物の期首残高	2,271,377	2,035,301
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額（は減少）	24,925	-
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	30,770	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,207,095	2,762,019

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

該当事項はありません。

【表示方法の変更】

当第3四半期連結会計期間
(自平成22年7月1日
至平成22年9月30日)

(四半期連結貸借対照表)

前第3四半期連結会計期間において、流動資産の「その他」に含めて表示しておりました「前渡金」は、前連結会計年度末数値との比較を明瞭に表示するため、当第3四半期連結会計期間では区分掲記することとしております。なお、前第3四半期連結会計期間の流動資産の「その他」に含めておりました「前渡金」は23,078千円であります。

【簡便な会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
2. たな卸資産の評価方法	当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。 また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについて簿価切下げを行う方法によっております。
3. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、且つ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)		前連結会計年度末 (平成21年12月31日)
1	有形固定資産の減価償却累計額は、11,086,062千円 であります。	1	有形固定資産の減価償却累計額は、10,787,559千円 であります。
2	保証債務 下記関係会社の金融機関等からの借入金等に対し、 債務保証を行っております。 東洋キトクフーズ(株) 122,426 千円 木徳九州(株) 610,035 備前食糧(株) 1,364,581 木徳東海(株) 140,000 合計 2,237,042	2	保証債務 下記関係会社の金融機関等からの借入金等に対し、 債務保証を行っております。 東洋キトクフーズ(株) 154,172 千円 木徳九州(株) 662,812 備前食糧(株) 1,673,808 アンジメックス・ キトク有限会社 159,523 合計 2,650,315
3	偶発債務 債権流動化に伴う買戻義務 (165千米ドル) 13,831 千円		

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次 のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次 のとおりであります。
運賃荷役料 1,672,160千円	運賃荷役料 1,690,646千円
給料及び手当 1,095,965	給料及び手当 1,108,670
減価償却費 67,608	減価償却費 62,455
賞与引当金繰入額 176,156	賞与引当金繰入額 174,669
退職給付費用 35,712	退職給付費用 17,198

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次 のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次 のとおりであります。
運賃荷役料 545,033千円	運賃荷役料 551,515千円
給料及び手当 364,252	給料及び手当 369,174
減価償却費 24,488	減価償却費 19,280
賞与引当金繰入額 48,463	賞与引当金繰入額 42,359
退職給付費用 10,661	退職給付費用 6,143

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年9月30日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在)
現金及び預金勘定 2,254,402千円	現金及び預金勘定 2,798,154千円
預入期間が3か月を超える定期預金 47,306	預入期間が3か月を超える定期預金 36,135
現金及び現金同等物 2,207,095	現金及び現金同等物 2,762,019

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成22年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 8,530,000株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 49,876株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年3月25日 定時株主総会	普通株式	25,439	3	平成21年12月31日	平成22年3月26日	利益剰余金
平成22年8月12日 取締役会	普通株式	16,959	2	平成22年6月30日	平成22年9月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの。

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

	米穀事業 (千円)	鶏卵事業 (千円)	食品事業 (千円)	飼料事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	21,809,837	1,504,189	2,077,966	1,000,109	26,392,103	-	26,392,103
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	445,631	5,395	56,254	-	507,281	(507,281)	-
計	22,255,469	1,509,584	2,134,220	1,000,109	26,899,384	(507,281)	26,392,103
営業利益	314,981	36,961	14,523	62,741	429,208	(208,082)	221,125

当第3四半期連結会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

	米穀事業 (千円)	鶏卵事業 (千円)	食品事業 (千円)	飼料事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	21,622,156	1,469,509	2,011,837	1,037,304	26,140,808	-	26,140,808
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	388,893	17,862	36,936	-	443,692	(443,692)	-
計	22,011,049	1,487,372	2,048,773	1,037,304	26,584,500	(443,692)	26,140,808
営業利益又は営業損失()	379,082	19,397	12,619	57,124	442,984	(214,344)	228,639

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品・商品

- (1) 米穀事業.....業務用精米、家庭用精米、玄米、加工米飯用米等
- (2) 鶏卵事業.....家庭用卵(一般卵・特殊卵)、業務用卵
- (3) 食品事業.....鶏肉、加工食品、米粉等
- (4) 飼料事業.....飼料

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日至平成21年9月30日）

	米穀事業 (千円)	鶏卵事業 (千円)	食品事業 (千円)	飼料事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	65,468,963	4,730,810	6,281,234	2,963,966	79,444,974	-	79,444,974
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,542,456	16,329	139,409	-	1,698,195	(1,698,195)	-
計	67,011,419	4,747,139	6,420,644	2,963,966	81,143,169	(1,698,195)	79,444,974
営業利益	1,061,512	118,833	55,208	178,438	1,413,993	(658,114)	755,878

当第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日至平成22年9月30日）

	米穀事業 (千円)	鶏卵事業 (千円)	食品事業 (千円)	飼料事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	64,985,903	4,422,247	6,221,118	3,073,678	78,702,947	-	78,702,947
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,426,782	43,047	117,256	-	1,587,086	(1,587,086)	-
計	66,412,685	4,465,295	6,338,374	3,073,678	80,290,034	(1,587,086)	78,702,947
営業利益又は営業損失()	1,140,777	70,146	1,393	182,596	1,392,127	(664,198)	727,929

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品・商品

- (1) 米穀事業.....業務用精米、家庭用精米、玄米、加工米飯用米等
- (2) 鶏卵事業.....家庭用卵（一般卵・特殊卵）、業務用卵
- (3) 食品事業.....鶏肉、加工食品、米粉等
- (4) 飼料事業.....飼料

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）及び当第3四半期連結会計期間（自平成22年7月1日至平成22年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日至平成21年9月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日至平成22年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）及び当第3四半期連結会計期間（自平成22年7月1日至平成22年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日至平成21年9月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日至平成22年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(有価証券関係)

当第3四半期連結会計期間末（平成22年9月30日）

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成22年9月30日)

デリバティブ取引の当第3四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度末と比較して著しい変動がありません。

(ストック・オプション等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年12月31日)
1株当たり純資産額 597.85円	1株当たり純資産額 567.19円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 48.16円	1株当たり四半期純利益金額 43.42円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益		
四半期純利益(千円)	408,421	368,196
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	408,421	368,196
期中平均株式数(千株)	8,480	8,479

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 11.94円	1株当たり四半期純利益金額 15.61円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益		
四半期純利益(千円)	101,287	132,403
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	101,287	132,403
期中平均株式数(千株)	8,480	8,480

(重要な後発事象)

平成22年10月26日開催の木徳神糧株式会社取締役会において、平成21年5月27日の全米商連厚生年金基金解散に伴う当社役員への不利益の一部を補填する方針を決定いたしました。なお、補填金の見込額は、現在同年金基金清算人による残余財産の金額確定作業が進行中であるため、現時点で合理的に見積もることは困難であります。

(リース取引関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理を行っておりますが、当第3四半期連結会計期間末におけるリース取引残高は、前連結会計年度末と比較して著しい変動が認められないため、記載しておりません。

2【その他】

平成22年8月12日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....16,959千円

(ロ) 1株当たりの金額.....2円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成22年9月27日

(注) 平成22年6月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行いません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月11日

木徳神糧株式会社
取締役会 御中

S K 東京監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 江部 安弘 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 久保 圭寿 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている木徳神糧株式会社の平成21年1月1日から平成21年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年1月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手續により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、木徳神糧株式会社及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年11月12日

木徳神糧株式会社
取締役会 御中

S K 東京監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 江部 安弘 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 久保 圭寿 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている木徳神糧株式会社の平成22年1月1日から平成22年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成22年1月1日から平成22年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手續により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、木徳神糧株式会社及び連結子会社の平成22年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。